

荻田町青少年育成町民会議だより



すこやか

No.5. 1991年（平成3年）7月10日



すこやかな
成長を願って
—第4回こどもの
つどいより—



みんなでやろう オアシス運動



毎月第三日曜日は
「家庭の日」です。

—親と子の心がふれ合う
1日を過ごしましょう—



青少年のすこやかな成長を願って 今年度も多彩な活動を計画しています。

町民会議が第三回総会を開催

五月三十日、中央公民館第五研修室において、荻田町青少年育成町民会議の第三回総会が開催されました。会場は百名以上の会員のみなさんが参加、六つの議案について論議しました。

町民会議が結成されて約二年。この間、五つの部会では、それぞれの立場から青少年のすこやかな成長を願って活動してきました。

そこで、部会ごとの活動状況と平成三年度の活動計画を紹介します。

総務部会

町民会議も設立後二年目を迎え、町民会議の名称や主旨もある程度浸透したように思われますが、全町民、地域一体となった運動には、まだほど遠く、さらなる普及啓発に努めます。

した。

●うちの作成・配布

町主催の盆踊り大会で、町民会議PRを目的に、町民憲章推進協議会と合同でうちわ一万本を作成し、参加者に配布しました。

●広報紙「すこやか」の発行

年二回の青少年健全育成に関する強調月間にあわせて、その趣旨の啓発や、それに呼応した各部会の事業の広報に努めました。

●タスキ・風船の作成

街頭などでの啓発活動をより効果的にできるように、カラフルなタスキ、風船を作成しました。

●健全育成講演会の開催

十一月二十三日、三原文化会館において、前北九州市立教育センター所長 野田茂氏を招き、「子供の心とどうつき合うか」という演題で講演会を開催しました。

●オアシス運動看板の作成

オアシス運動推進のため、今年度は馬場校区、白川校区にオアシス運動推進看板を設置しました。

★三年度活動計画

○啓発講演会

○「すこやか」の発行(三回程度)

○オアシス運動推進看板の作成

健全育成部会

●健全育成ポスターの募集

昨年度に引き続き、今年度も県子ども会連合会主催の青少年育成ポスター募集事業へ参加したところ、多数の応募があり、九名が入選しました。これは、県下有数の成績であり、荻田町を県下にPRできたと思います。

●ウォークラリーの開催

十一月十一日、第一回ふれあいウォークラリーを開催しました。友達同士、親子づれなど約二百五十名が参加しました。

●風作り教室・風揚げカーニバル

十二月十六日、小波瀬コミュニティセンターで、風作り教室を開きました。また、年が明けた一月二十七日には、向山公園で第一回風揚げカーニバルを開催したところ、約三百名の参加がありました。

★三年度活動計画

- 体育行事参加の奨励
- 野外活動研修事業

補導環境部会

青少年に有害な地域環境の浄化のため、空家、公園などを中心に補導巡回を繰り返し、青少年の非行防止につとめました。また、今年は万引き防止を課題とし、ステッカー配布や研修を重ねました。

●要望書の提出

カラオケボックス店、ビデオレンタル店へ昨年に引き続き要望書を提出しました。

●少年を守る日補導活動

毎月第三水曜日に、空家、公園などを中心に補導活動を展開し、住民、商店の間で浸透しつつあります。

●万引き非行防止ステッカーの作成

総務部会と連携し、ユニークなデザインのステッカーを五百枚作成し、十月と十一月に町内にほぼ全域の商店に啓発を兼ね、配布を行いました。※その他、町や各地区の行事で、積極的に補導活動を行いました。

★三年度活動計画

○青少年に有害な地域環境の浄化と整備を推進

▲町民会議のパレード



○春、夏、冬休み中の巡回街頭補導の推進

○悪書対策や薬物乱用防止の推進

○交通安全、水難防止対策として、危険箇所のチェックと、立札などの設置の推進

家庭部会

「家庭の日」運動、「オアシス運動」推進を中心に、第一回家庭部会講演会を開催するなど、健全な家庭づくり運動の活性化を図ります。

また、並行して、あいさつ運動推進活動も展開しました。

●家庭部会講演会の開催

家庭部会主催

講演会

青少年を健全育成するためには、地域としてどのような役割が必要なのか。

一緒に考えましょう！

- 日時 7月19日(金)
午後6時20分～
- 場所 総合福祉会館
- 演題 「青少年育成と地域の役割」
- 講師 福岡教育大教授
松尾 祐作先生
(教育心理学、発達心理学)

※入場無料

★三年度活動計画

- 「家庭の日」運動の推進
- オアシス運動の推進
- PTA活動との連携強化活動の推進

七月十四日、総合福祉会館において、短大講師・豊永せつ子先生を招き、「子どもと紡ぐ赤い糸」と題した講演会を開催しました。

- 「家庭の日」啓発チラシの発行
- 「オアシス運動」推進看板と封筒の作成(総務部会と連携)
- 「あいさつ運動」推進看板の設置

九枚作成し、各保育園・幼稚園に立てました。

生徒指導研修部会

町内小中学校と連携を深めながら、児童生徒の健全育成をはかり、補導環境部会と連携し、補導活動を展開しました。

★三年度活動計画

関係諸団体と連携をとりながら、町内の諸行事における非行防止活動を行います。

青少年相談Q&A

前回に引き続き今回も登校拒否及び不登校問題にふれてみましょう。

Q. 登校拒否や不登校を事前に防ぐため、また、解決のためにどのような手立てをしたらよいでしょうか。

A. 「学校に行かない、行けない」という現象が思春期の子どもたちにひろがりを見せていますが、前回、「SOSの信号を発し、何らかの徴候が見られます」と、いくつかの主なものを取りあげてみましたが、その原因は一律に論じられない複雑さをもっています。神経症的な「登校拒否」と家庭生活の乱れを大きな要因とする「不登校」の克服では、単に「学校に行けるようにする」ことも大切ですが、もっと大切なことはこの問題をきっかけに、家庭(親)や学校(先生)が大きく変革することであるという観点も大切にしなければならないと思います。

この子どもらに共通しているのは、対人関係面でストレスやプレッシャーがかかっていることです。この点を配慮していかなければなりません。

仲間集団の中に如何に溶け込んでいけるようになるかが大きな鍵になってきます。集団の中(家族を含む)に心理的な「居場所」を築いていけるように援助していくことがとても大切なことです。

不登校と呼ばれるような場合は、「勉強がわからない」「学校が楽しくない」「家庭での暖かさが欠ける」と登校への意欲を失ってしまい、ドロップアウトしてしまうものです。

家庭環境の調整が如何に本人に意欲をもたせるかが重要なポイントになります。したがって、家庭と学校そして地域との連携が必要となってきます。

最近、自律神経失調症によるものも多くなっており、早く専門の病院や関係機関への協力を求めるのも解決への道だと思えます。

次代を担う青少年を健全に育成することは、国民的な課題です。少年非行は昭和五十八年をピークに、依然として高水準で推移しており、万引きなどの初発型非行の多発、女子非行の増大、少年による凶悪・

粗暴な事件の発生、暴走族による暴走行為の頻発など青少年を取り巻く社会環境の悪化など憂慮すべき状況にあります。このため、七月を「青少年を非行からまもる全国強調月間」に定め、関係

機関、関係団体、地域住民などが非行に対する共通の理解と認識を深め、非行防止のための諸施策及び活動を有機的な連携の下に集中的に実施し、非行防止の徹底を図っています。

7月は「青少年を非行からまもる全国強調月間」です

チャレンジ・キャンプ参加者募集



●後援 荻田町青少年育成町民会議

●主催 荻田町青少年育成会連合会

●問い合わせ先 松中文雄さん(☎436-1046)

●申込締切 7月20日

●申込先 中央公民館(荻田町青少年育成会連合会事務局)☎436-0061

●募集人員 24名

●経費 五千円

●対象 小学4年～中学3年(子ども会安全会に加入している男女)

●内容 野外炊飯、星座観測、ウォークラリー、キャンプファイヤー、ナイトハイキングなど。

●期間 8月2日(金)～7日(水)

●場所 福岡県立社会教育総合センター(篠栗町)

●内容 野外炊飯、星座観測、ウォークラリー、キャンプファイヤー、ナイトハイキングなど。

●対象 小学4年～中学3年(子ども会安全会に加入している男女)

●募集人員 24名

●経費 五千円

●申込締切 7月20日

●申込先 中央公民館(荻田町青少年育成会連合会事務局)☎436-0061

●問い合わせ先 松中文雄さん(☎436-1046)

●主催 荻田町青少年育成会連合会

●後援 荻田町青少年育成町民会議